

様式第1号

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 所沢市総合計画審議会
開 催 日 時	令和5年8月23日（水曜日） 午前10時00分～正午
開 催 場 所	市役所高層棟8階大会議室
出 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり ※出席者18名
欠 席 者 の 氏 名	（会議録別表1）のとおり ※欠席者3名
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	経営企画課 主幹 松本 圭四郎 経営企画課 主査 岩田 堯之 経営企画課 主任 星野 啓
議 題	議事 （1）第6次所沢市総合計画後期基本計画に係る検討状況 （2）第6次所沢市総合計画前期基本計画の振り返りについて （3）その他
会 議 資 料	《配付資料》 [会議資料] ・ 資料1 所沢市総合計画審議会 委員名簿 ・ 資料2 計画策定に係る検討状況 ・ 資料3 計画策定スケジュール ・ 資料4 第6次所沢市総合計画前期基本計画・評価書 [参考資料] ・ 第6次所沢市総合計画前期基本計画評価書
担 当 部 課 名	経営企画部：鈴木部長、柳田次長 経営企画課：小池課長、松本主幹、都築主査、岩田主査、 古屋主任、星野主任 (事務局) 経営企画部 経営企画課 電話 04-2998-9027

(会議録別表1)

所沢市総合計画審議会 委員名簿

会 長 野澤 千絵

副会長 鹿島 正之助

	委員の区分	氏名	出欠
1	行政委員会の委員	宮本 陽子	出席
2	行政委員会の委員	田中 宏	出席
3	公共的団体等の代表者	鹿島 正之助	出席
4	公共的団体等の代表者	赤津 拓彦	出席
5	公共的団体等の代表者	三上 誠	出席
6	公共的団体等の代表者	梅本 晶絵	出席
7	公共的団体等の代表者	齋藤 千里	出席
8	公共的団体等の代表者	田中 成憲	出席
9	公共的団体等の代表者	田畑 大介	出席
10	公共的団体等の代表者	新居 亨一	出席
11	関係行政機関の職員	平野 健一	欠席
12	知識経験者	野澤 千絵	出席
13	知識経験者	藤本 浩志	欠席
14	知識経験者	加賀谷 崇文	出席
15	知識経験者	鞍掛 純一	出席
16	市民その他の市長が必要と認めた者	岩永 啓一	欠席
17	市民その他の市長が必要と認めた者	金田 龍二	出席
18	市民その他の市長が必要と認めた者	河野 和子	出席
19	市民その他の市長が必要と認めた者	下山 愛	出席
20	市民その他の市長が必要と認めた者	相沢 郁美	出席
21	市民その他の市長が必要と認めた者	山藤 雅史	出席

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>～ 開 会 ～</p> <p>■ 会長あいさつ</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>■ 議事（1）第6次所沢市総合計画後期基本計画に係る検討状況について</p> <p>～事務局より、資料に基づき説明（資料確認等含む）～</p> <p>ただいまの説明につきましてご意見、ご質問等ございますか。</p> <p>～ご意見、ご質問等なし～</p> <p>では次に行きたいと思います。</p> <p>■ 議事議題（2）第6次所沢市総合計画前期基本計画の振り返りについて</p> <p>～事務局より、資料に基づき説明（資料確認等含む）～</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議題（2）第6次所沢市総合計画前期基本計画の振り返りについてのご意見を今からご質問も含めて挙手をお願いしたいのですが、論点としては、まず前期基本計画の評価指標の達成状況及び事業目標の達成状況を所管課が評価しているわけですが、これに対して皆様がどのようなご意見があるか、ご質問があるかという点が一つ。</p> <p>もう一つは、こうした現状がある中で、次回の審議会では、いよいよまちづくりの目標というものが議論されていきます。前期の振り返りにおいて、コロナという2年間があったので、なかなか数値的なところでその影響というものがあ難しいとはいえ、これは足りない、もうちょっと頑張るべき、あるいは新しくこういうものが必要ではないかというようなこともお話しいただければと思います。</p> <p>ということで今から1時間ぐらいあるので、皆さんの忌憚のないご意見をいただければと思います。</p>

委員	<p>今ご説明いただいて、納得いった部分がほとんどですが、2点ありまして、1点目は進捗状況についてです。資料4の2ページ目第2章こどもが大切にされるまちのところで、「達成が見込めるあるいは改善傾向にある」が100%で5分の5となっていますが、追加資料の方では分母が8になっていますよね。これは単純なミスではないかと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>2点目ですが、内容に関して先ほど単純に数字の達成だけで高評価しているわけではなく総合的に評価されているという説明自体はわかりました。差替え資料の評価書で、21ページの2-1-1こども支援センター（子育て支援の利用者数）の策定時に8万5,000人利用していて6万人の目標値があったものが、令和3年の間はずっと下がっています。これ自体はもちろんコロナの影響だと思いますし、僕自身も活動していてほとんどの人が来なかった時期がありますので理解できますが、ただこれを“◎”と評価する根拠の部分がピンとこないですね。なぜそこにこだわるかという、やはりこれはコロナで仕方がない現象だとは思いますが、そのことによって孤立している家庭が出てきているのも確かなので、これをコロナがなかったら多分来ていただろうと評価されているのだとしたら、むしろ問題の本質からちょっと外れてしまうことになるのかと思いましたので、どういう理由で“◎”の評価になっているのかということについて聞かせていただきたい。</p>
事務局	<p>お答えいたします。</p> <p>まずこども支援センター利用者数についてです。事務局でも所管課に確認をしているところでございます。令和4年度の実績値はまだ確定はしていませんが、改善した傾向があるものとして暫定値として“◎”、“○”ということになっていると推察しております。ここの部分については少し不確定な部分が多いので、こちらで調査した後に皆様に共有したいと思っております。</p> <p>それから策定時の数値の部分ですが、こちらにつきましては大変申し訳ありませんが確認をした上でご回答差し上げたいと思います。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。では確認していただくということをお願いいたします。ほか、ありますでしょうか。</p>
委員	<p>今先生からもご指摘のありましたとおり、私も産業の部分なのでお話をさせていただくと、51ページの5-4-3で国際交流フォーラムの参加者の数をもう一度洗われた方がいいのではないですか。</p> <p>多分市長さんにこの審議会の報告が行くでしょうし議会でも突っ込まれると思います。ついでに言うと、さっきの説明を聞いていて全く理解できませんで</p>

事務局	<p>した。最後の達成率の数字の方が私は簡単でわかりました。</p> <p>人ってあまり難しく言うとかわからなくて、皆さんが聞きたい部分は達成したのか達成してないのかという部分だということと、それから今日ご説明いただいた内容の中で、②に関して言うと、せっかくSWOT分析をやっているのであれば、私は分析を見たいです。</p> <p>市民の皆さんがどういうふうにかえられているか、産業がどういうふうにかえられているか、それから先生方が「これ確かにそうだね」と言えるのであれば、次回で反映できるのではないかとわかるのですが、文字の羅列だけ見せられても私の思考回路では評価できないです。</p> <p>うまく見せていただけるとありがたいと思っております。</p> <p>国際交流フォーラムにつきましては、感染症の影響で令和元年度、令和2年度、令和3年度には開催を自粛しており、実績値としては上がってきていません。</p> <p>ただ開催していないから何もやってないというわけではなく、令和2年度には、展示やオンラインで実施させていただき、展示見学者が1190人、動画視聴者数が1,516回となっております。</p> <p>令和3年度も同様に実施しております実績は824名でした。ただ実際にこの3年間でフォーラムは実施できていませんでしたので、それを踏まえて基本計画におきましては、この事業目標は考え直していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。次お願いします。</p>
委員	<p>商業の方で実際やっているのは知っているのですが、実際にZoomでやってもそれは参加者ですから、フォーラムとしてはやらないにしても、Zoomという形をとっているのであればやはり数字を上げるべきだと私は思います。</p> <p>私はリアルで参加することだけが数値ではないと思いますが、その辺の基準を決められた方がよろしいのではないかと私は思います。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。今単純に、このフォーラムは開催していないから実績がないということになっているわけですが、実際に工夫して実施した部分というのも評価として見せるべきであったと思いますので、今後そういった部分も含めて考えていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ほかありますでしょうか。</p>

<p>委員</p>	<p>まず評価書の3ページですが、私も福祉の分野から来ておりますので少し気になったところがあります。1-1-2の自治会等への加入世帯数の達成見込みがちょっとまずいことになっている。やや減少傾向なのかなと思われるところがありまして、この“○”とか“△”の判断基準が少し気になりました。</p> <p>一方の市民活動支援センターの利用者数は、少しずつ増えてきているというところで“△”になっていますが、これは“○”でも良いと思いました。結局その達成見込みは“○”となっていますが、自治会は地域の中のまちづくりにおいては十分大事な組織であると認識しております。だんだん少なくなっている現状から見てもその改善のための施策が手薄になってしまわないか、それが気になります。その判断基準をお伺いできればと思いました。</p> <p>そしてこれは特に回答をお願いしますということではなく、意見ということになります。例えば同じ2ページの1-3の障害福祉サービスの利用率“◎”となっているのはかなり施策が進んでいて、利用した人は誰でも利用できると思われたいのですが、やはりよくよく計算式を見てみると、支給決定者数、その中のさらに実際にサービス利用者数が大事になってくると思います。</p> <p>支給決定まで至っていない方も相当数いますので“◎”は正しいとは思いますが、こういう形になると障害福祉はもう“◎”と捉えられてしまうのが少し心配なところではあります。</p> <p>もう1点、資料4の評価指標事業目標にそれぞれ達成率がありますが、評価指標のところは、第7章は“△”が40%ですが、事業目標のところの達成率は14%となっており、そこまでの評価が難しいと感じました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>自治会の加入世帯数につきましては、お話の通り市民活動支援センターの傾向とその評価が異なっていましたのは、当方の反省点です。</p> <p>原因といたしましては、自治会の加入世帯数が減少していることがあげられます。イベント活動が中心の自治会ですが、そのイベントの中止や連携不足などのマイナス要因に伴いまして、地域活動の持続可能性が低下しているということが報告されています。つきましては改めて確認をして、基本計画の参考にしたいと考えます。</p> <p>それから2点目の障害福祉サービスの利用率につきましては、このご指摘の通りでございます。この障害福祉サービスの支給決定者のうち障害福祉サービスの利用率は数値としては達成しているのですが“◎”ということになります。実際問題の課題として、支給決定に至ることができない人の存在、あるいは障</p>

	<p>害福祉サービス支給決定者の中でも利用しづらいサービスがあったり、または需要が集中しているサービスなどもあると思いますので、その部分については改めて考えていかなければいけないと思います。こうした事項に関しては、個別計画に当たる障害者支援計画でしっかりと考えていく必要があると考えております。</p> <p>それから3点目。ご指摘いただきました通り、評価指標と事業目標の関連性の部分ですが、評価指標の進捗率と事業目標の進捗率、確かにこれは相関性があまり担保されていないような状況になっております。本指標については指標の方針や変更を内部検討しておりまして、後期基本計画策定においては、ご指摘いただきました視点につきましても、検討していきたいと考えております。</p>
<p>会長</p>	<p>ほか、ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>環境の観点から第4章の40ページの中身はむしろ後期基本計画に関係するのかもしれないですが、地産地消ということが非常に有効であるということを知りました。むしろ地産地消という言葉は知っているけど、それが脱炭素となるとこれが必要ないわけですから、環境の保全とフロンの問題とのタイミングが難しくなると思ったわけです。</p> <p>私も数年前、海洋プラスチックゴミの削減で、そういう海ゴミゼロ運動にも参加しました。市民が日々、そういうことを心がけてやらないと、目に見える効果はない。市民の意識の問題です。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>地産地消の部分につきましてはお話の通りでございます。地元で採れた野菜を地元で消費することになれば、遠距離から運搬される場合に比べ、運搬車から排出されるCO2が少なくなります。また、皆様ご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、所沢市におきましては、脱炭素に係る取り組みを重点的に行っているところでございます。委員ご指摘のこのような視点というのは、産業経済部においてもなかなか着目がしづらい部分かと思っておりますので、このような貴重なご意見につきましては担当部署にも共有し、脱炭素という取り組みでもあるということをご共有してまいりたいと思っております。また、2点目として、市民の心がけのお話がありましたが、まさにお話の通りだと思います。</p> <p>プラスチックという話とは少し異なりますが、所沢市におきましても、市民の意識に働きかけるというところで、生ごみの水切りなどの周知も行ってきて</p>

	<p>います。生ごみは水分を多く含んでおり、生ごみを燃やすためにはより多量のエネルギーを使ってしまう、それによって環境負荷が増えるということになりますので、定期的に「生ごみを捨てる前には水を切る」といった周知をいろいろな手法で実施しております。</p> <p>委員ご指摘のご意見は継続して常に心がけて取り組んでいきたいと思っておりますので担当部署に共有いたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ほか、ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどから現状とかけ離れているのではないかというご意見が出ておりますので私も2点意見を出させていただきます。</p> <p>1点目。差替え資料のP21の2-3-3の指標「放課後児童クラブの利用者数」のところで、令和3年度において令和6年度の目標値を既に回っているため、“◎”になっていることかと思いますが、実態としては、児童館生活クラブや学童クラブに入れずに困っている児童が年々増加しています。放課後支援事業についても、31校中10校は定員が埋まってしまっている状況にあります。このため、放課後どこへも行くことができない子どもをどうしていくかということに関しては、この指標では反映していくことができないのではないかなと思いました。</p> <p>それからもう1点ですね。</p> <p>27Pの2-5-2「豊かな心の育成」です。民生児童委員をやらせていただいている関係で学校に伺う機会が多いです。「いじめ解消率の小・中の割合」という指標に“◎”がついています。</p> <p>また、27Pの2-5-2を見ますと、「②学校司書を小中学校全校に配置し、」となっておりますが、現実には司書の方がいないところをボランティアが埋めているという状況があります。</p> <p>指標の「いじめ解消率の小・中の割合」の話に戻りますが、不登校の生徒がすごく増加しています。これは全てがいじめを起因としたものではないと思いますが、こうしたことも考えると、指標の評価を“◎”としていいのか、そもそもこの指標でいいのか、と考えたところです。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず2-3-3の指標「放課後児童クラブの利用者数」ですが、おっしゃる通りでございます。重要なのは十分な利用環境を整備することなど側面の評価も必要だと思えます。このため、事業目標も、考え直していきたいと考えております。</p> <p>続いて、豊かな心の育成「いじめ解消率の小・中の割合」についてのご質問</p>

	<p>ですが、本当に今おっしゃっていただいたとおりだと思います。コロナを経て、社会的にもその傾向にあると思いますが、本市においても、不登校の生徒の割合がすごく増えているという現状がございます。ここで重要なのは、確かにいじめの解消率もちろん重要なのですが、もし不登校になってしまったときに、その方々が学校に戻って来られるような支援も考えていかななくてはならないと考えております。実際に授業に追いつけなくなってしまう、登校しづらくなってしまうといった側面もあると思いますので、自宅にしながら授業を受けられるというような環境整備を進めていくことも大切なことと認識しているところです。本指標ですと、こうした視点を捉えることができませんので、後期基本計画においては、いただいたご意見を参考にいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ほか、ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今いろいろ説明聞いていて、個別の説明についてはもちろんそうかと思いますが、なんとなく全体的な傾向としての各分野の方々のお話を伺っていて、それぞれ何か実感と評価がずれているのかなあという感じがしまして、そこもやっぱり何かうまいやり方がないのかなと思うわけです。例えば20ページ目を見ると、子どもが大切されるまちのTable.1のところで、こども支援センターの利用者満足度の目標を100%にしています。この分析のところにも書いてありますが、目標値を達成できるかについて「判断できない状況である」と返ってくるということだから、まず目標そのものがおかしいということでありまして、そもそも、これ、99.28%とか満足度がものすごく高いものだと思います。これをわざわざ“○”にしておいて、その下の4つ目のところで、青少年健全育成に関する施策の満足度というところは、元々29%を目標にしていますが、これは16.8%までしか伸びていないのに“◎”になっていますね。それぞれの目標がよくわからないところがあって、それに対する評価というのは、せめて同じ基礎のところである程度揃った評価基準というのがあった方がいいのではないかなと思うわけです。</p> <p>しかし、今伺っているとそれぞれバラバラで、項目ごとに評価している感じがして、実感が伴わない感じがします。</p> <p>先ほど数字にこだわったわけではないとおっしゃいましたが、せめて数値に対してこれぐらいの満足度ですというところがあれば、まだ客観的な指標としては納得できる部分もありますが、主観的なものというのはそれぞれに別の主観が入ってしまうような感じがして、感情的にも理屈的にも腑に落ちないところが全体的にあります。</p>

会長	事務局、いかがでしょう。
事務局	<p>指標につきましては、委員ご指摘の通りでございます。達成見込みについては令和6年度を見据えて実際にどうなるのかを、各担当部署に判断をお願いしており、そのことから結果として令和3年度の状況を見て、これが”◎”はおかしいのではないかとというようなところに繋がっていると思われま。我々の方でも改めて確認し、一定の基準が出せるのであれば、基準を持って修正したいと思ひます。</p> <p>指標について、「目標値100%」これが目標値としてそもそも適切なのか、というお話がございました。これにつきましては、毎回総合計画策定において発生する問題のひとつであります。市としては100%という目標値を掲げる意義により、100%を設定することがありますが、それが現実と乖離する場合がございます。</p> <p>事務局といたしましては、現実に達成可能、もしくは事業をすることで向上するような、むしろ達成できるような数値を設定してもらいたいという意識は当然持っております。一方で、現場としては、いや事業としては市民の皆様から100%の満足を取りたいというような気概を持ってやっている事業もござひます。そうした意見を尊重しました結果、現在の指標となっているところで。しかしながら、本日、委員から多くのご指摘をいただきましたので、後期基本計画の策定におきましては、委員の皆様のご意見を事務局で受け止めるとともに、各部署にもきちんと周知させていただきながら、目標数値の設定については改めて精査をしたいと思ひます。</p> <p>指標については本当に難しく、今は主として市の事業が約2,000事業ありますがそのうちの約600事業にこうした評価を行っています。</p> <p>一方で、令和2年度にあった新型コロナウイルス感染症の蔓延のような大きなインパクトがあると、指標の性質にも依りますが、必ずしも連動しない事象が出てくるということが非常に大きな問題だったのではないかなというふうに思っております。</p> <p>いずれにしても、後期基本計画においても指標の精査をきちんとしてまいりたいと思ひます。</p>
会長	ほか、ありますでしょうか。
委員	<p>今ご回答いただいたことに意見を言わせていただきます。その目標値100%という理想は、99%ぐらいの満足度というのが現実的な部分で、ほぼこれで満足しているのだろうというところで達成見込みとして評価するようなや</p>

<p>会長</p>	<p>り方をしてほしい。また、仮に100%を目指すとした場合、100%にならないのは明らかなことですが、仮に99.9%達成できたとき、これ以上は実績を伸ばしきれなくなると思います。しかしながら、こども支援センターとしては残りの0.1%を見切るという選択はない訳で、そうしたときに、「では、どうしたらこの残りの0.1%の需要を満たせるか。外の方法はないのか。」というような有機的な指標の分析や改善につながっていくと良いのかなと思います。</p> <p>ほか、ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>今お話をお伺いして2,000ぐらいの事業をいろいろまとめるのも大変だなと思いますし、ビジネスではないので、「お金にならないからやらない」と切ることもできないし、難しい部分もあると思います。</p> <p>2-4-2の指標「児童館利用者数」について、満足度の達成見込みが”◎”になっていますが、利用者数の目標値はキャパシティ（容量）であると思われるので、実情と乖離があるということもありえるので、実情に寄り添うように評価していただけるとありがたい。</p> <p>51ページの、5-3-4の指標「Facebook等のSNSの”いいね”数」という項目があります。この指標に関しては、「いいね数」というよりはそもそも、せっかくSNSを使って影響力を伝えられるコンテンツを有していることかと思えますので、どうやってフォロワー数を増やして、どういう発信をしていけるというところを目標値に持っていった方が効果的ですし、そこからこの5章にも良い影響が出ると思えますので、ご意見させていただきます。</p>
<p>会長</p>	<p>では事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>事業と指標との乖離というのは、当方においても本計画の課題の一つであると認識しております。後期基本計画策定においても重点的に考えてまいります。</p> <p>また5-3-4の指標についてのご意見、大変参考になります。こちらもち帰って、担当部署と共有し、検討してまいりたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど別の委員からお話があったように、事務局が非常にご苦労されているというのは、よくわかります。これらを指標にするためには、各部署で単位が違うわけですね。ですから非常にまとめづらいのかなあとも思っています。</p> <p>市の方々が100%を目標にしたいのはわかります。だけど、実際この1年</p>

	<p>やったものは70%しか行きませんでした。けれども、本当の実測値から言うと60%しかできませんでしたという3段階にするとわかりやすい。実はこういう方法で土地区画整理の進捗状況を確認している。これであれば、地元の方々がどこまで計画が進んでいて、何%やるつもりだったけれども、いろいろな理由があって、できませんでしたということをご理解していただけますよね。そんな手法があるということも参考までにお伝えしたくてお話ししました。</p> <p>それと最後に2章のところで、私もさっき聞いたのですが、これは満足度なので調査して欲しいのですが、満足度のパーセンテージで98.3、99.43というと、我々民間でいうところの顧客満足度が99%ということかを確認しておいてください。</p> <p>もしかするとこれは市役所内の満足度ではないですか？と不信に思います。というのは先ほどの話に戻りますが、目標値100%とあって、実績60%しかありませんでしたという指標もありました。僕はSWOT分析を見たいというのは、最終的にこの後期基本計画をどうやって決めるのかと言ったときに、市民の方々も参加して市を良くしようとするのであれば、ここの部分をもっと強くしなければいけないというものがでてこないといけないので、顧客満足度というのが各部署で捉えていられるのかなと。もしとらえる方法があるのであれば取った方が多分いいかなと。</p> <p>もしかすると満足度が10%か20%台になる危険性もあるわけですよ。</p> <p>市役所さんはですね、一生懸命やりました。けど市民から見ると、いやそれはちょっと違うよねというのを先ほど先生がおっしゃったのではないかなと私は思います。</p>
会長	<p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今ご指摘の中にありました、土地区画整理事業における進捗状況の整理の仕方についてのご指摘につきましては、おそらく土地区画整理事業は、その事業計画に基づいてそれを当該年度ごとの事業の進捗状況について整理するというような手法をとっておられるかとおもいます。なかなか事業単位のものを計画にそのまま反映できるかというのは確認が必要なところでもありますが、主管課である市街地整備課にも確認し、取り入れられるところは取り入れられるようにしていきたいと思っております。</p>
会長	<p>私もかなり気になったことがあるのでお時間いただければと思います。最初に、やはりこの評価、達成状況という言葉自体が誤解を生むのではないかと思います。例えば差替資料の2、2ページ目に、基本計画第1章における評価指</p>

標の達成状況が“◎”、“○”、“△”となっています。これは書かれてはいますが、この表だけを見たときに本当かなと市民ではない私でも思うので、達成状況というよりも、令和6年の達成見込みの関する評価とか判断とか、何かそういうふうには書かないと、誤解が生じて皆さん明らかに違うなと思われてしまうのではないかというのが1点です。

もう1点は、その上でこの達成見込みがやはり、それぞれの指標の判断が違うので、本当かなという指摘をいっぱい受けてしまう可能性があるのも、横を少し小さくするとか、令和4年5年は置いといて、令和6年だけにして、何か少し工夫し、もう少しちゃんと書いた方がいいのではないかというのが1点です。その上で、“◎”と“○”が怪しいので、もう一度同じ評価軸というか視点で、事務局でチェックしていただき、これはちょっと違うとか、基本的にはこの事業や政策を講じた上での効果を見ているわけですので、もう1回評価し直して調整した方が、後々ややこしくならなのではないかと思います。もう1点は例えば2ページ目の1-6 総合防災訓練の参加者で、策定時2,000人という目標があるわけです。これは多分台風の影響などで少し意識が上がったのかという気がしないでもないですけど、そのあと実績なしというのはもちろん、コロナの影響で“◎”というのは乱暴かなという気もしております。こういうものを特に実績がなかったとか、この他に影響があるものについてはもうコロナにより評価が不可とか、困難みたいな事項を入れて、評価した方がデータ分析のあり方として正しいのではないかと思います。

例えばこれは“◎”で入れてしまっているとさっきのグラフで“◎”が何%何件と表されてしまっているわけですね。これはデータ分析上気持ち悪いというか、逆に怪しくなってしまうので、判断ができないものはもうそのまま事実として入れて、そのまま別立てでも私は良いと思うのが2点目です。

さらにもう1点ですが、私の専門である第6章自然と調和する住みよいまちという60ページについても突っ込みどころ満載です。細かい話はしませんが、後期基本計画に繋がる部分で、自然と調和すると言いながら Table.1 とか Table.2 のプロジェクトが行っている内容が、まったく自然との調和ではなく、土木や土地利用、都市整備などの話が中心になっていて、タイトルとも齟齬があるなと感じます。他のところも政策や事業を実施したからこそ目標値が上がったり下がったりすることとの関連性が非常に大事なのに、全然関係ない指標や、政策がなくても参加してもらうためのイベントを実施したり発信を頑張りますというだけのものですよね。後期基本計画では、今後に向けてこういった政策や事業を行ったらきちんと成果指標にしていかないと、問題がいろいろ起きてくるのではないかと思いますし、本当の効果の測定もできない。さらに今回頑張ったができなかったことを次回の政策に盛り込んでいくために

	<p>精査し、事業そのものの妥当性みたいなところをもう少し考えていくべきではないかと思います。</p> <p>加えてその目標値も、線形に少しずつ増えていくとか、気軽に書きすぎに思えます。別に数字じゃなくても、現状維持とか現状をより良くするために指標の数値設定そのもののあり方も考えるべきかと思います。</p> <p>もう少し議論をして設定した方が、こういうことにはならないのではないのでしょうか。非達成見込みの2割3割は大変だとは思いますが、一度庁内で議論していただいて、これはおかしいのではないかとというところは担当課とやりとりをしていただくのが一番良いのではないかと思いました。以上です。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りだと思います。我々が市として取り組んだ状況と社会的状況というのがあって、おそらく市民の皆様は社会的状況の方に影響されるわけですね。そこをどのように指標に落とすかというのがすごく難しく、これだけの成果があったけれども、社会的ニーズがもっと必要とされる場合が多々あります。これをどう評価するかはとても難しい。</p> <p>我々としては自分たちがどれだけやったか、どういう成果を得たかということとを大本において指標を作るのですが、それがおそらく委員の皆さんと認識の乖離が出てきてしまう原因ではないのでしょうか。そこは難しいところではありますが、委員長からのご指摘もありましたし、持ち帰りましてどのように指標設定していくべきなのか、考えていきたいと思います。繰り返しになりますが、実は総合計画のたびに同じ議論になります。</p> <p>指標の設定とか、目標値の設定というのが難しいので、最終的にどこまでできるかというのは、少しお時間をいただければと思います。</p>
会長	<p>指標に関しては、何も全部が全部必要なのかとも思っておりまして、もっとコンパクトに「これだけは頑張ります」みたいな、メリハリをつけた評価指標でも、良いのではないかと思います。何か数字に惑わされてしまうところもあるし、需要があった政策だったからこそ、効果が測定できるような指標にした方がいいし、全部が全部そうでなくてもいいと思います。私の中では実際に比べると指標に振り回されて、逆にそのために本当かなと疑心暗鬼になってしまうようなところがあります。担当課の方も頑張られているのはわかるので、それが裏目に出ないように政策を掲げて、その効果を測定することが大事なので、そこを後期基本計画では少しコンパクトにしてもいいのではないかというのは一個人の意見です。皆さんの意見・審議の内容を庁内で検討していただければと思います。</p>

会長	ほか、ありますでしょうか。
委員	<p>所沢市の広報誌はすごく良いものと思います。こうした審議会や計画策定の状況等についても掲載して、市民への情報発信なども考えてはいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>総合計画の策定につきましてはある程度形がまとまったところで、市民の皆様や議会に対して説明等を行いますし、提案いただきましたことについては前向きに検討してまいりたいと思います。</p> <p>全体の事業をどうこうするというような話になりますと、なかなか難しく、先ほどご紹介申し上げました通り、市としては2,000ぐらいの事業を手がけているものですから、これを広報に載せることはなかなか難しい。</p> <p>主としてタイムリーであるものや所沢市の皆様にぜひ知っていただきたいこと、こうしたものにつきましては、全12回ではありますが、その中で特集などを組んで、市民の皆様にお知らせしていくという状況でございます。</p> <p>この総合計画策定という事業を含めて、多くの事業がございます。</p> <p>行政評価という指標の中で、ホームページ上で探していくと見つかる場所ではありますが、かなりテクニカルな内容になっておりまして、細かい事業について確認したいということになると、所管課などにご連絡いただくことが一番いいのかと思っております。以上でございます。</p>
会長	ほか、ありますでしょうか。
委員	<p>保健医療計画に関連する「第3章 健幸長寿のまち」の指標は非常に低いパーセンテージですので理由を述べたいと思います。実は保健医療計画の中では全て数値評価をしています。何%達成したかというのでA、B、Cで、今回の振り返りということになります。前期基本計画の評価については、策定時の数字と、達成すべき数字の根拠を変えることができない中での評価になりますので、定性的であっても良いですが、この変えることができない目標に対しての評価について振り返りをし、この制度でプロジェクトチームを作っている。</p> <p>これは現場に近い職員たちがプロジェクトをしているところは評価できます。さらに庁内の策定委員会、課長クラス、さらに制度設計上はその現場の人が市民の方を向いていれば、これで意見を吸い上げるのだと思いますし、ぜひこの方式は続けていただきたいです。細かいポイントについては委員の皆さんがおっしゃっています。僕はもう既に文書で提出しましたが、突っ込みどころはたくさんあるということでもあります。僕は無視されるだろうと思っていまし</p>

<p>会長</p> <p>委員</p>	<p>たがちゃんと返事を書いてくれています。</p> <p>あともう1点、こちらの評価書ですが、52ページの産業基盤というところの数字についてです。結果的なところをもし庁内で指標と評価をもう1回見直すということであるならば、課題の部分を「工業系用地が不足しており工業という新たな企業が困難になっている」という書き方をされていますが、これはもう厳しいのかなともとれるし、でも多分そういうことではないのかなとも思えます。例えば困難になっているのでこういう取り組みが必要だとか、そういった表現が少し加わるとありがたいと思います。他の課題を見ていくと、具体的に今後の方向性を入れていただいているところがほとんどですが、「現状が不足している」で終わっているような表現になっているところも若干見受けられるので、ぜひもっと踏み込んでいただき、何が必要なのかということを入れていただけるとよいと思います。というのも私共福祉の分野の業種でも、業務中に市の委託事業などを多くさせていただいています。やはりこの総合計画をととても大事に思っていて、今後推進していくにあたって私達にとって大事な指標になるので、ぜひそういった意味でそういうのを加えていただくと、一緒に取り組みやすくなっていくと思いますので、ぜひお願いしたいです。</p> <p>大変な作業なので本当に頭が下がりますが、よろしく願いいたします。</p> <p>ほか、ありますでしょうか。</p> <p>私が表の読み方がわからないだけでしたら申し訳ないです。いただいた資料の中で、「この項目は指標の数字を把握できないため合計25%になります」という記載がありました。おそらく斜線になっているところを今日の差替え資料の評価書から確認するということがわかりました。後から見ると、2-2-1、こども支援センター発達支援の利用者数の部分のことだと思われそうですが、その後の細かい取組みと課題については、この事業を頑張った2-5-1についても頑張ったよということがたくさん書いてあって、おそらく成果が出ているからとりあえず作ったようにも見られます。そうするとさっきあった国際フォーラムの開催ができなかった件や、51ページでは実施なしとなっているにもかかわらず“◎”がついているが、これはどういうことなのか教えていただきたい。</p> <p>また、全ての項目において、令和4年以前の実績部分が、まだ記載されていない状態ですが、これはいつごろ集計ができるのか教えていただければありがたいです。</p> <p>最後の1点です。だれも予測しえなかったコロナによって目標に対して実績が変わってしまいましたが、皆が頑張ってきました。途中でコロナがあったか</p>
---------------------	--

事務局	<p>ら目標を下方修正しようかとか、あるいは、それでも達成見込みが20までだから上方下方修正しようかというのは、途中では6年間は一切発生し得ないのかということをお答えいただきたいです。</p> <p>まずご指摘いただいた21ページの子どもの部分ですが、こちらの発達支援の利用者数に対する達成状況見込みがマイナスになっています。これに関しては他の指標との整合性というところもあって、“◎”とか“○”とか“△”を入れられる部分だと思いますのでここについても所管課ともう一度調整をさせていただいて、この全体の調整の中で、わかりやすいような形での見込みを改めて提供させていただく予定です。</p> <p>また、全体的な令和4年度の実績値がいつ頃出るかというお話ですが、全ての所管でそれぞれの事業目標と評価指標について施策評価という仕組みで評価を行って取りまとめている最中でございます。この指標については9月の中旬ぐらいに公開を予定しておりますので、そのあたりの時期になれば具体的な数字が令和4年度の実績値として入ってくる形になりますので、その際はまた改めてお示しさせていただければと思っております。</p> <p>数値目標の変更についてですが、総合計画自体が議会での議決を得た上で、これを計画として成立しているものなので、この6年間の途中でその目標値を変えとなると、議会にもかけ直さなければいけないということもあり、基本的には本当にどうしても何か変えなければいけないという場合でなければ、なかなか簡単には目標値を下方修正するということは難しいというのが現状です。</p>
会長	<p>ほか、ありますでしょうか。</p> <p>もし他にもお気づきの点がありましたら、今後文書等で事務局にお送りしていただく方がいいのかとも思いますので、必要があればご対応いただければと思います。それでは他にないようでしたら議題（2）につきましては以上としたいと思います。</p>
会長	<p>■ 議事（3）その他について ～事務局より、資料に基づき説明（資料確認等含む）～</p> <p>ただいまの説明につきまして質問やご意見はありますでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局から1点補足をしたいと思います。</p>

	<p>議題（２）の評価書について、大変分厚い資料を事前にご覧いただきありがとうございます。改めてお礼を申し上げます。今日この場でご意見、ご指摘いただいただけではなく、事前に事務局にご連絡いただいたご意見もありますので本当に感謝しております。実は今回お示しした資料も作る上でわかりやすさと正確性をどのように両立していけるのかというところで大変悩みました。後期基本計画を作るにあたって議論をもう一度しっかりやろうと思いました。いただいたご意見を踏まえながら、繰り返ししっかり議論してまいりたいと思っておりますし、また前期で立てた目標についても評価をしていくつもりでおります。</p>
<p>会長</p>	<p>補足していただいてありがとうございます。非常に真摯に対応していただいて大変心強いと思いました。他の自治体の都市計画の分野ですと、達成できるかどうか分からないのに指標を入れているといった無理のある状況のところもあります。後期基本計画に関しては、政策の測定ができる形のもので、かつ、確かなデータが得られるものになるようメリハリをつけてもいいのかと思いました。個人的な意見ですが、これから本当にそういうことを視野に入れながら、この評価自体の課題をきちんと後期に引き継いでいって、今の時代に合わせて新しくニーズが出てきたことを踏まえながら、第３回のまちづくりの目標として設定していけたら良いと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ということで、議題（３）については以上としますが、大体大丈夫ですか。</p>
<p>委員</p>	<p>公債費比率ですが５％未満にするというところが、令和１年は７０％でどんどん上がっています。要は財源がなくなってきたことを示している。僕は医師として勤務している中で、住民から良く聞こえてくる話として、福祉的な支援が必要な時や困ったときは助けて欲しいけれど、普段は何も関わりたくないと思っている。それはありえないことですよ。ですから本計画の中には、ぜひとも市民参加率という市民がどれだけ自分たちの将来に関わって市民活動に参加しているのかといった視点を入れてほしいです。やってもらうのが当たり前だということはありませんので、実際に示してほしいのはスクラップアンドビルドです。この事業は何年か後に潰れますよということを端的にわかるようにすべきだと思います。この事業の必要性があって次のこの事業に継続性があるか全くわからない。今だけ金だけ自分だけというような人たちを肯定する共生社会ではない。市は共生社会を目指すべきです。</p>
<p>会長</p>	<p>では以上で本日の議事は全て終了しましたので進行を事務局の方にお返しし</p>

事務局	<p>ます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたり、本議案につきましてご審議いただき、また大変数多くのご意見を賜りまして、心より感謝申し上げます。</p> <p>本日のご意見を踏まえ、基本計画案の策定作業を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>以上をもちまして第2回総合計画審議会を閉会といたします。</p> <p>～閉 会～</p>
-----	---